

入間市駅前側留保地活用検討 ワークショップまとめ

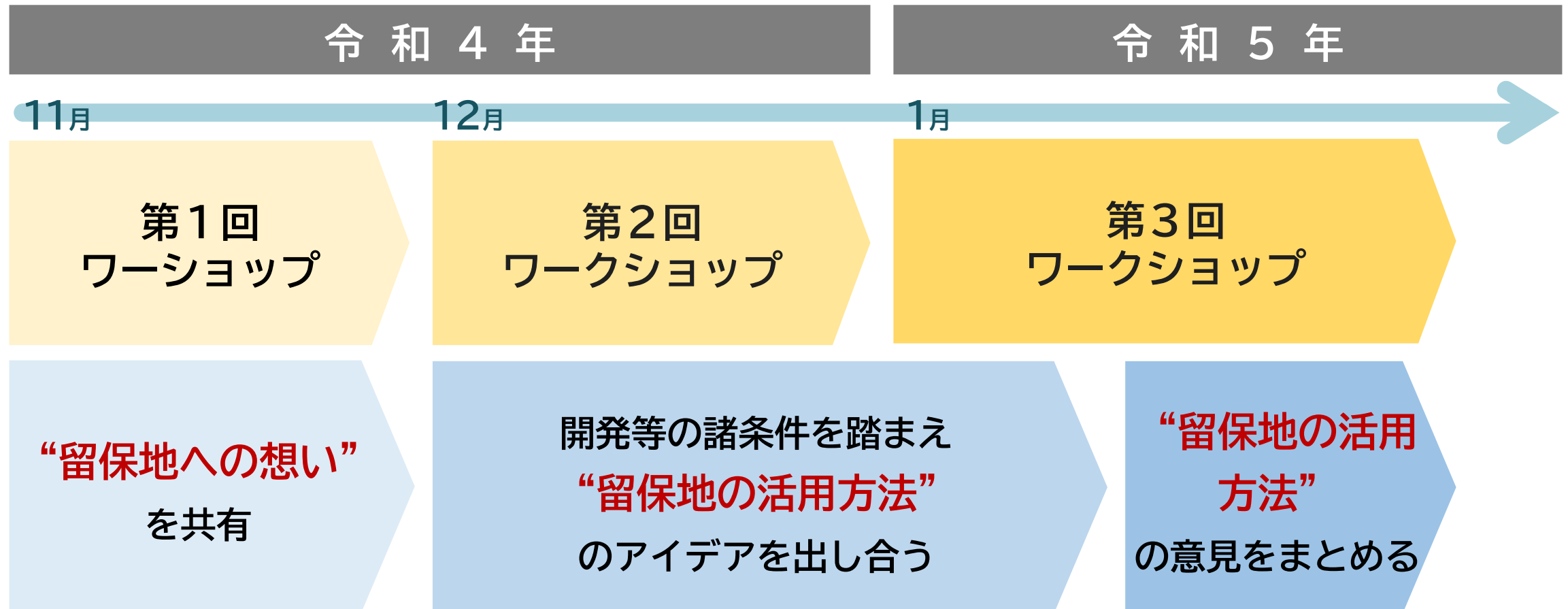
第1回:11月19日

第2回:12月10日

第3回: 1月21日

ワークショップのスケジュール

● 全3回ワークショップを開催しました。



ワークショップの目的

- これまでの経緯や入間市の現状について報告し、参加者の
ジョンソン基地跡地留保地への想いを聞くこと。
- 入間市駅前にあるジョンソン基地跡地留保地の活用に向け、
ワークショップを通して活用方法を考えること。

ワークショップの最終成果イメージ

○ コンセプト・サブタイトル

多くの市民が集まり、入間市の顔となるような
賑わいのあるまちを目指す
~○○○○○○○○○○○○○○○○○○~

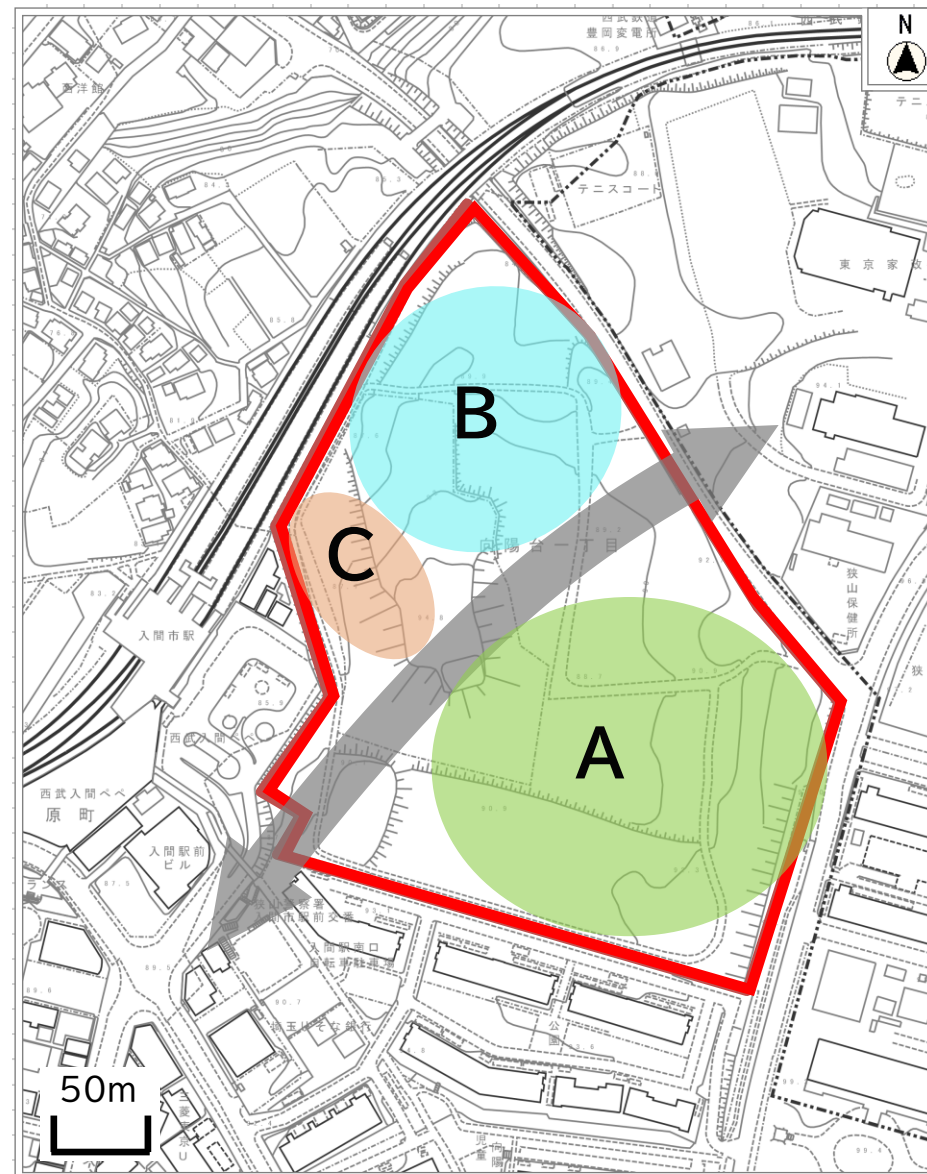
○ 各ゾーンのテーマ(ゾーン数に決まりはありません)

- Aゾーン
○○○ゾーン(○○施設の整備ゾーン)
例:○○○、○○○等を整備
活動イメージ: ○○○○○○○○○○
ターゲット: ○○○○
- Bゾーン
○○○ゾーン(○○施設の整備ゾーン)
例:○○○、○○○等を整備
活動イメージ: ○○○○○○○○○○
ターゲット: ○○○○
- Cゾーン
○○○ゾーン(○○施設の整備ゾーン)
例:○○○、○○○等を整備
活動イメージ: ○○○○○○○○○○
ターゲット: ○○○○

○ 実現に向けての課題

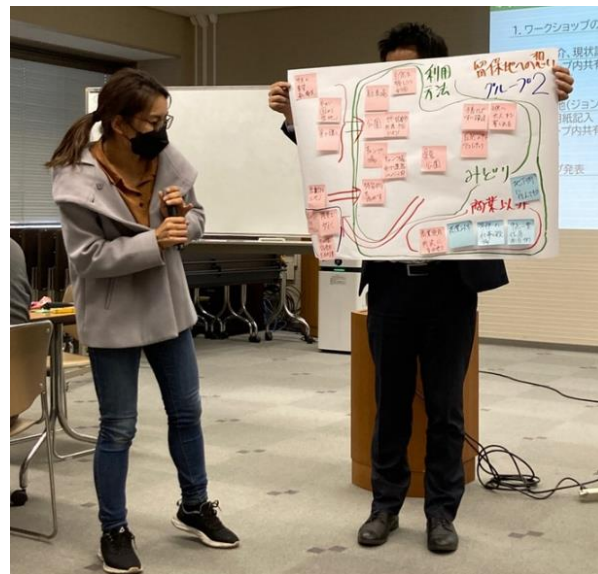
○○○○○する必要がある

○ ゾーニング



第1回ワークショップの概要

日時	11月19日(土) 13:30~16:00
場所	入間市役所 C棟 5階 501会議室
形式	説明会形式、WS形式
参加人数	21人
WS内容	1. 入間市駅前側留保地 を取り巻く現状の説明 2. 自己紹介、説明への疑問点など 3. 留保地への想いを共有 4. 全体発表



第2回ワークショップの概要

日時	12月10日(土) 13:30~16:00
場所	入間市市民活動センター 3階 活動室1
形式	WS形式
参加人数	21人
WS内容	1.配置したい機能の検討 2.ゾーニングの検討 3.サブタイトルの検討 4.全体発表



第3回ワークショップの概要

日時	1月21日(土) 13:30~16:00
場所	入間市役所 C棟 5階 501会議室
形式	WS形式
参加人数	21人
WS内容	1.配置したい機能の検討 2.ゾーニングの検討 3.サブタイトルの検討 4.全体発表



ワークショップの成果



計3回ワークショップを実施し、これまでの議論の成果をグループごとに作成しました。

○サブタイトル

“チャレンジ”したくなる森の中のまち
～くらしを彩る～

○各ゾーンのテーマ

文化チャレンジゾーン

(音楽・芸術・アート)

体験チャレンジゾーン

(子ども・自然)

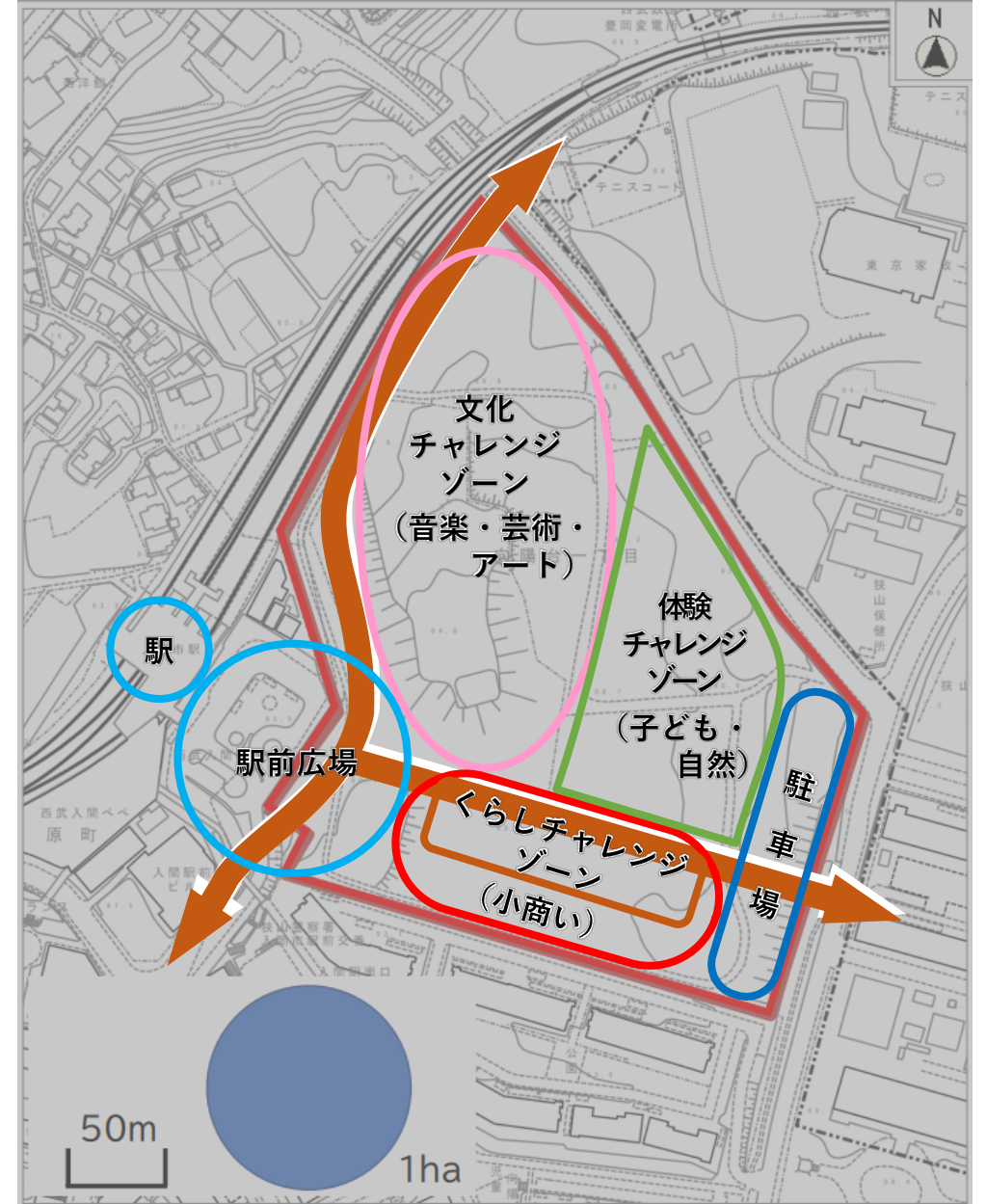
くらしチャレンジゾーン

(小商い)

駐車場・駅前広場

※市民会館の方向性が決まらなると施設の想定が難しい

すべてに地形を活かす



○サブタイトル（キーワード）

- 世界から、市全域から人が集まる
- 多種多様な人
- ふれあい
- 緑

○各ゾーンのテーマ

- できるだけ現在のまま
- 未来に土地を残す

○その他

- 住宅や中高一貫校などがあると良い
- 総合病院があると良い



市民

- 中高生がサッカーやったりできるところ
- 高低差を活かしたアスレチック
- 市民まつり
- 誰でも自由に使える
- 子どもが散歩
- 高齢者歩いて健康に

来街者

- キャンプ
- イベント
- 姉妹都市を象徴するようものを公園の中に。季節ごとに姉妹都市の人に来てもらう
- 世界から来てもらう
- ジュラシックパークみたいなものを作ってはどうか

- 各市民団体がみんなで維持管理を行う。イベントも積極的に（地域が集まって太鼓セッションなど）
- 管理業務を子供が体験

市民の関与

財政面

- 県営にしたらどうか
- 国から借地したらどうか
- 市民が維持管理手伝う
- 運営（カフェなど）は民間に

人が集まる

- 駐車場必要

ターゲット・活動イメージ

課題

○サブタイトル（キーワード）

- 唯一無二の場所
- 子育て入間
- 生活に便利な場所
- コミュニティ、居場所
- 多くだけでなく × 多く + 多世代○
- 自然と憩い
- 利用・運営への市民の関与

○各ゾーンのテーマ

A案

- A-1: 駅前広場拡張
- A-2: 文化・集会（防災機能）
- B-1: コミュニティ拠点
- B-2: 子育て
- B-3: 暫定（今のまま）



○サブタイトル（キーワード）

- 唯一無二の場所
- 子育て入間
- 生活に便利な場所
- コミュニティ、居場所
- 多くだけでなく 多く + 多世代
- 自然と憩い
- 利用・運営への市民の関与

○各ゾーンのテーマ

B案

じっくり土地利用を考える
(まずは、今のままの土地利用)



A案

A-1 : 北口・南口との役割分担をしながら、機能拡張

A-2 : 公共施設（防災機能）・メディカルパーク

流動的

B-1 : 多様な世代が集まる小規模な施設の集積（商業・コワーキング・企業支援・新規店舗→入間にはない機能・形態・チャレンジショップ

B-2 : 子育て（第2回での意見参照）

B-3 : 暫定→ **B-1・2**の利用などをふまえた利活用

B案

<STEP 1>

まず市民に開放して、
どういった場所なのか
を共有

<STEP 2>

この場所をどのように
活用するか、じっくり
考えるべき

もしかしたら

A案？

○サブタイトル（キーワード）

みどり・創造・カルチャー

- オープンな場所
- グラデーション
- 創造できる街
- 現状をいかしたいこいの森
- 人が集まれる場所
- 文化のかおり
- 緑と空気が吸える街
- 留保地の外に向けて

○各ゾーンのテーマ

文化

- 中・高、演奏会ができる場所
- 音楽の活動（ホール）

遊び

- 心かよわす、自由な場所
- 商店、回転率の高い店
- 好奇心が生まれる
- ハンドメイドなどチェーンではない良さのある店

青少年の居場所

- 交流できる場所
- コワーキングスペース
- みやしろまちのようなイメージ



○実現するまでの課題

- 市民会館工事が中断している
- 文化施設を位置付けする上で、留保地周辺の施設を含めて検討したい
- 音、振動が文化施設には課題（電車）
- アクセス道路は必要
- 暫定的なお店など、将来的な利活用（初期費用がかからない）
- ゾーニングはいらない
- 用途地域を変更しない